

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(749)2211
担当部課名	土木部	南土木事務	所	市道整備
事務事業名	私道路整備事業		事業コード	32220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	安全でゆとりある道路の整備	元
施策名	第2施策	身近な生活道路の整備	年度

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市私道路整備要綱
-------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
生活環境の改善と安全で住み良いまちづくりに寄与するため、私道路の簡易舗装整備を行う。		道路を利用する車両歩行者、沿道住民	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
20箇所 延長L=926.5m 舗装面積A=3,457㎡		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	整備目標達成率		
指標式	当該年度整備実施延長/当該年度当初計画整備延長×100		
指標設定の意図	当初設定した計画整備延長の達成率により成果を表す		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	108	113	a 110	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	24,403	25,919	21,405	21,700	18,000
	人員・時間数	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人
	人件費	8,420	8,420	8,420	8,420	8,420
	その他経費					
	合計	32,823	34,339	29,825	30,120	26,420
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 110.4%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{110.4}{100.0} \times 100 = 110.4\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A : 適応している	理由：	寄附採納の要件に合致すれば、本来寄附を受け、市道として本整備を行うべきであるが、幅員、抵触物件等の要件が満たないため、簡易舗装のみの整備を行っている。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由：	市内には私道路が多数あるが、1箇所当りの受益対象者が、少数に限られるため、投資効果が高いとは言えない。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由：	受益者が限定されるため、本来受益者が負担すべき面もあるが、生活環境の改善、安全で住みよいまちづくりの観点から市が実施していく。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由：	本来、寄附をして市道として本整備をしてもらいたいとの要望であるが、寄附要件が満たされないため、簡易舗装のみの整備となっている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 B ▼	A : 有効である	理由：	市内には私道路が多数存在しており、その私道路を生活道路として利用している人々にとって有効な事業である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 本来、市が寄附を受けて市道として本整備を行う事が最善である。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 舗装構成は最低限のものであり、コスト圧縮は困難である。</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	説明	<p>本来、市が寄附を受けて市道として本整備を行うべき道路であるが、寄附の要件に満たない私道路を整備するもので、寄附道路整備事業を補足する事業であり、生活環境の改善と安全と住みよいまちづくりの実現のため、継続して事業を進めていく。</p>

8 二次評価における変更点